



## いぬ・ねこを迎えるということ

犬や猫は、はるか昔から人間に飼われ、いつも人間と共に生きてきました。野生動物ではないので、食餌から行動、繁殖、心や体のケア、そしてその生死すら人間の都合に左右されてしまいます。犬や猫は飼い主を選ぶことは出来ません。飼い主はその子の生涯が幸せであるように、努める義務があります。動物を飼う前に、自分とその動物の将来をしっかりと見据え、飼ったら最期まで家族の一員として、愛情と責任を持ち続けて飼ってあげてください。

### -飼う前に考えてみて-

- 1.同居のご家族の同意と、万が一の時のセカンドファミリーの確保は出来ていますか。もしあなたが仕事で遅くなった時、入院した時、万が一死亡した時、あなたに代って同じように愛情や時間をかけてくださる方はいますか。
- 2.犬猫は感情をもった生き物です。愛情とコミュニケーションは不可欠です。一緒に遊んだり、お散歩したり、グルーミングやマッサージをすることも大切です。十分に手間をかける時間はありますか。
- 3.最近の調査では、犬の生涯15年間にかかる経費が算出され、300万円以上という結果もありました。食餌費、医療費、種類によってはトリミング代、状況により訓練などの費用もかかります。また、犬猫の突然の怪我や病気などで、予想外の高額な出費も考えられます。飼い主さんによってケアの仕方に違いはありますが、家族として迎え入れるにはそれなりの出費に覚悟が必要です。
- 4.それぞれの動物の種類によって習性が違い、また同じ種類であっても、人間と同じようにそれぞれに好みや性格、能力差があります。その子を良く観察し、習性を理解し、犬猫に出来るだけストレスを与えないようにしたいものです。同時に、社会から愛される存在になれるよう、マナーや法令を守り、適切なトレーニングをする必要があります。人間と同じように扱うことが、動物にとっての幸せではありません。犬猫について、またその子について一緒に学ぶ準備はありますか。
- 5.人生に大きな転機が訪れた時も、その子と一緒にいる決意はありますか。命を預かる責任に自信がないなら、飼わないことも愛情です。

### 犬・猫はどこから飼い(買)いますか？

みなさんがこれから犬猫を買う(飼う)としたらどこで犬猫を探しますか？人によってその選択はさまざま。犬猫を飼う(買う)ということについて、あらためて一緒に考えてみませんか。“可愛い犬猫と目があって、運命を感じてしまった”こうした理由で犬猫を飼ったという方は少なくないようです。その子を一生大事に飼えるなら、それも一つの縁かもしれません。でも、そうした一時的な感情で犬猫を飼った(買った)人たちの中には「動物を飼うことがこんなに大変だとは思わなかった」と簡単に手放してしまうケースが多々あるようです。動物を飼う(買う)時は、環境の変化や人生の転機が突然訪れても、最期まで一生飼っていけるか、十分に考慮したうえで家族として迎えることが出来るか考えたいものです。

◆個体差はありますが、犬猫は10年以上生きるのが一般的です。上記にも上げましたが、まずは自分が10年以上動物と暮らすことができるかなどをよく考えた上で、自分のライフスタイルにあった動物を決めよく調べてから、迎えることが出来るかを慎重に考えましょう。

### ペットショップから (生体展示販売)

身近な場所にあり、いつも店頭で犬猫がいるので欲しい時に買うことが出来ます。また犬猫を実際に見て確かめられ、いろいろな犬猫を見比べることも出来ます。「買った犬猫が病気だった」などのトラブルもあるため、多くのお店を見て、動物が適切に大切に扱われているお店で購入するようにしましょう。またブリーダーや親犬に関する情報も教えて貰いましょう。動物に愛情をもっている良心的なお店であれば、その犬猫の長所だけでなく短所もしっかりと説明をしてくれます。また動物の販売には「動物取扱業」の登録が必要です。購入する前にそのお店が登録を受けているか確認してみましょう。

### CHIECKしてみよう

- ◆広告で動物をモノのように扱っていたり、いたずらに購買意欲をあおっていませんか？
- ◆お店は清潔で、給餌がきちんとされていますか？動物の置かれている環境は適切で、離乳前の社会化出来ていない動物を置いていませんか？
- ◆購入の際の契約書の内容は適切ですか？

### 保健所・保護施設から

保護施設ではスタッフがライフスタイルや生活環境、飼い主さんの性格に合った犬猫をアドバイスしてくれ、お試しで飼ってみる期間を設けている施設もあります。ワクチンや不妊手術などを施している場合が多いので、安心です。また一匹でも不幸な命を減らすことにつながるため、命の大切さや思いやりの気持ちを実感出来るので、よりリアルに周りの人に伝える事が出来ます。ただ動物管理センターや保健所、保護施設では保護された動物の生年月日、病歴、成育歴、飼育された環境などが分からないので、より試行錯誤での飼育努力が必要な場合も多いです。また保護施設では、動物詐欺の被害もあるようなので注意が必要です。

### CHIECKしてみよう

動物の再飼養支援ネットワークシステム

<http://www.jawn.go.jp/>

収容動物データ検索サイト



自治体に收容されている動物の譲渡を推進する環境省のページです。

### ブリーダーから

飼育環境を確認できるのはもちろん、親を見せてもらうことで子犬の成長した姿が予測でき気性や遺伝などもある程度確認できるのはとても大きなメリットです。購入前・後も飼育についてアドバイスを受けることが出来ます。また、ある程度の月齢まで子犬が親やきょうだいの元で過ごすことが“社会化”に良い影響を与える上、生まれた場所でワクチン接種を済ませられるので感染症のリスクも低くなります。ただしブリーダーはペットショップのように簡単に見つけることが難しく、希望犬種を扱うブリーダーが近くにいない場合も多いので、調べたり足を運んだりする手間と時間が必要です。信頼できるブリーダーかどうかを確認して、子犬が産まれるまで待つなど、時間をかけて検討することも大事なことだと思いませんか？

### 犬の良いブリーダーとは？

◆標準にあった健康なオス・メスを繁殖させている。◆遺伝・病理などの知識を持ち、血統管理を行っている。◆犬猫の多種類を取り扱っていない・・・など上げればキリがありませんが、一つの目安は繁殖を引退した動物を飼っているかどうか・・・また、幸せに家庭で暮らせるよう新しい飼い主を探すかで、そのブリーダーが動物を本当に愛しているかが分かるのではないのでしょうか。

### 友人・知人から

友人・知人の家で生まれた子犬、子猫を買う場合は、ブリーダーからの購入と同じように飼い方のアドバイスを受けたり、親きょうだいを見ることが出来るなどの利点があります。ただ個人的な経験や思い込みで間違った飼い方をしていたり、繁殖や遺伝的疾患に関する知識がない場合などもあります。

ここでは、動物の迎え方についてシビアに書きましたが、いずれにしても動物に罪はなく全ては私たち人間の意識の仕方、無垢な動物たちの運命が左右されます。一匹でも不幸な動物がいなくなりますよう願ってやみません。

